

別紙1 安佐医師会病院全身用X線コンピュータ断層撮影装置購入契約仕様書
(保守見積含む)

1 品目

全身用X線コンピュータ断層撮影装置一式

2 基本構成

2-1 全身用X線コンピュータ断層撮影装置一式

- | | |
|-------------------|-----|
| (1) ガントリー本体 | 1 式 |
| (2) 寝台 | 1 式 |
| (3) X線管球装置 | 1 式 |
| (4) 操作コンソール | 1 式 |
| (5) 画像処理ワークステーション | 1 式 |

3 機器仕様

3-1 全身用X線コンピュータ断層撮影装置一式

<ガントリー本体>

- (1) ガントリー開口径は 750 mm Φ 以上であること。
- (2) ガントリー傾斜角度は $\pm 30^\circ$ 以上が可能であること。
- (3) 最大の撮影範囲は 1,200 mm 以上であること。
- (4) 撮影時間はフルスキャン 0.8 秒以下であること。
- (5) 検出器素子は感度の高い個体検出器であること。
- (6) 同時に 32 スライス以上の画像再構成が可能であり、実装（実効は不可）で 16 列以上の DAS を有するマルチ検出器システムであること。
- (7) 0.625 mm 以下のスライス厚にて同時 16 断面以上の撮影が可能であること。
- (8) 実装 16 列以上の DAS を使ったノンヘリカル of 1 回転で体軸方向（Z 方向）16mm 以上を撮影可能な検出器構造であること。
- (9) 16 列収集時の最大テーブル送り速度は 39mm/秒以上であること。

<寝台>

- (10) 床面から天板最低高は 450 mm 以下であること。
- (11) 天板移動の精度は ± 0.25 mm 以下であり、荷重 180kg 以上において保証されていること。
- (12) メタルレス天板を用いていること。
- (13) 腕受け及び頭受けを有していること。
- (14) フットスイッチを有すること。

< X線管球装置 >

- (15) X線管球の陽極熱容量は 2.0MHU 以上であること。
- (16) X線管球は最小 10mA から最大 225mA 以上が選択可能であること。
- (17) 連続らせん状スキャンは 120KV/200mA の条件で 40 秒以上可能であること。

< 操作コンソール >

- (18) 操作コンソールのモニタは、カラー液晶モニタを 1 台以上有すること。
- (19) らせん状スキャン時の画像再構成時間は最短 15 画像/秒以上であること。
- (20) 画像表示マトリクスは最大 1,024×1,024 以上であること。
- (21) 磁気ディスク装置は 200,000 枚以上の画像データ (512×512 マトリクス) の保存が可能であること。
- (22) 撮影領域 (FOV) は最大 430 mm以上であること。
- (23) 本体コンソールにて 3 次元画像処理機能を有すること。また、3 次元画像処理機能は、ボリュームレンダリング処理、MPR、CPR、最大値投影法、最小値投影法、仮想内視鏡法を有していること。
- (24) 造影剤自動計測スキャン機能を有していること。
- (25) らせん状スキャンにおいて被ばく低減を目的とした自動 X線量コントロール機能を有すること。
- (26) 逐次近似法を応用した画像再構成法を有すること。
- (27) 逐次近似法を応用した金属アーチファクト低減技術を有すること。
- (28) DICOM Storage 機能を有すること。
- (29) DICOM MWM 機能を有すること。

< 画像解析ワークステーション >

- (30) 画像解析ワークステーションとしてコンピュータ断層撮影装置本体の操作コンソールとは別に、3D 画像処理、各種画像解析が可能な端末を 1 台含めること。
- (31) (30) に示す画像解析ワークステーション用端末については以下の要件を満たすこと。
- (32) OS は Microsoft 社製 Windows 10 Professional 64bit 版相当以上の機能を有すること。
- (33) CPU は、1.8GHz 以上、64bitCPU 以上の性能・機能を有すると判断されること。
- (34) メモリは 8 GB 以上であること。
- (35) 磁気ディスクの物理容量は 500GB 以上であること。
- (36) 液晶カラーモニタを有すること。
- (37) キーボード及びマウスを有すること。
- (38) 3D ボリュームレンダリング機能があること。
- (39) 仮想内視鏡像を含む三次元表示機能があること。
- (40) 血管を含む管腔臓器を解析できること。
- (41) 骨外し機能を有し、骨抜き MIP 画像が得られること。
- (42) ワンクリックで内臓脂肪と皮下脂肪の領域分けを行い、面積が計測できるソフトを有

すること。また結果レポートの保存が可能であること。

(43) COPD の特徴の一つである肺気腫の測定を支援する為に、肺野 CT 画像から画像を選択するだけで、低吸収領域 (LAA : Low Attenuation Area)、%LAA (肺野領域にしめる LAA の百分率) や色づけされた解析画像を算出する機能を有すること。また結果レポートの保存が可能であること。

(44) プリンタを有すること。

<搬入・設置条件及び調整等>

(45) 当院画像サーバーと DICOM Storage 接続を行うこと。

(46) 当院 RIS サーバーと DICOM MWM 接続を行うこと。

(47) 設置場所は、導入病院が指定した場所に設置すること。

(48) 届け出に必要な線量測定を行うこと。

(49) 落札業者は、放射線管理区域内で調整等の作業をする際、各施設の放射線予防規程等を遵守して施工、安全を第一にすること。

(50) 調達物品の搬入および仕様を満たした据付、配線、調整等の工事について落札業者の負担にて行うこと。

(51) 機械および周辺装置の配線等は、当院関係者と十分協議したうえで施工すること。

<サービス体制・保守体制・その他>

(52) 調達物品の故障、不具合に対して、保守等に関する契約を締結するか否かに関わらず夜間および祝祭日でも修理等の対応、連絡体制が整備されていること。

(53) 障害時は、早急な復旧を可能にするサービス体制を有することを証明すること。

(54) 納入期より 1 年間は、保証、保守の対応を無償で行うこと。

(55) 無償保証期間内に行った調整・修理等全ての作業について、その作業内容をその都度病院担当者へ報告すること。

(56) 装置稼働前に、担当医師及び担当技師への教育訓練を行うこと。

(57) 納入期限内に、当院が指定した場所に設置し、安定した稼働が出来ること。

(58) 調達物品の納入前に、設置等にかかる日程表等を提出すること。

(59) 調達物品の取扱については、当院の関係者に対して十分な説明を行うこと。

(60) 導入する装置は、導入時に薬機法承認がとれた製品であること。

以上